

科目名	保健統計学演習 (Practice in Health Statistics)			科目コード	170
開講学科	看護学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (30時間)
科目区分	専門基礎科目	履修時期	4 年次前期	関連DP	看②③④
担当教員	鳥居 順子、(未定)				
授業概要	各種保健統計指標および疫学指標の算出方法、地域保健活動で活用できる統計的手法について概説し、具体例の演習を課す (PC 利用演習、紙上演習)。				
授業目標	各種保健統計指標および疫学指標の算出方法、地域保健活動で活用できる統計的手法について理解する。 主要指標を算出できる。例題について統計手法の適用と結果の解釈ができる。				

授業計画

回	項目	内容
1	統計調査の記述的解析 (1)	単純集計、クロス集計、度数分布表
2	統計調査の記述的解析 (2)	代表値、散布度、グラフ表現
3	対象の選定	標本抽出、無作為化
4	交絡因子の調整	層別解析、標準化
5	関係を調べる方法	相関と関連、相関と因果 散布図、相関係数、無相関の検定
6	調査データの統計的推論 (1)	推定、オッズ比の信頼区間 検定とは
7	調査データの統計的推論 (2)	割合の差の比較、クロス表の分析
8	調査データの統計的推論 (3)	平均値の差の比較、対応の有無
9	調査データの統計的推論 (4)	3 群以上の比較、ノンパラメトリックな手法
10	アウトブレイク時の調査 (1)	時・場所・人
11	アウトブレイク時の調査 (2)	食中毒の喫食調査
12	疫学・保健指標の算出 (1)	スクリーニングの有効性の指標 感度、特異度、陽性反応的中度、ROC 曲線
13	疫学・保健指標の算出 (2)	相対危険、寄与危険、オッズ比
14	疫学・保健指標の算出 (3)	年齢調整死亡率 (直接法)
15	疫学・保健指標の算出 (4)	年齢調整死亡率 (間接法)
成績評価方法	各回の課題と受講態度 (75%) と最終課題 (25%) で評価する。	
教科書	なし	
参考図書等	宮内清子編著「公衆衛生看護キーワードナビ」(インターメディカル)、 福富和夫・橋本修二著「保健統計・疫学 改訂第6版」(南山堂)、 「国民衛生の動向2018/2019」(厚生労働統計協会)、 疫学、公衆衛生学、統計学、地域看護方法論で使用した教科書	
授業時間外の学習について	各回で内容理解に積み残しが出ないように、関連科目での学習内容も含めて必要性に応じた復習を求める。積み上げとなる内容が多いので各回完結を目指し、課題の提出を求める。欠席した場合もその回の課題の提出を期限までに求める。	
関連科目	169 保健統計学、168 疫学、125 統計学、166 公衆衛生学、 234 地域診断論、235 地域看護方法論、 304 ヘルスプロモーション展開論、305 公衆衛生看護特論 他	
備考	最終課題は第9回に告知する。	